

喜多院の五百羅漢

喜多院境内にある五百羅漢は、北田島村（現在の北田島）出身の志誠こと内田善右工門が造り始めたのが起源とされています。

天明二年（一七八二）から「天明の大飢きん」が数年間続いたこともあり、十八世紀ごろの日本では、社会全体が大きく揺らいでいました。その一方で、「五百羅漢像に詣でると、その多様な面相の中に必ず思慕する故人の面影を見いだすことができる」という信仰やその庶民性から、全国で五百羅漢の信仰が流行していました。

このような時代に志誠が江戸本所の羅漢寺へ参拝に行ったことが、五百羅漢を制作し喜多院に納める、直接の契機になったとされています。志誠は寛政十二年（一八〇〇）に亡くなるまで、約四十体の羅漢像を制作しました。北田島の円満寺のそばにある閻魔堂墓地内には、市の史跡に指定されている、志誠の墓があります。



写真の「さぎやき羅漢」のほか、530体以上の羅漢像があります

羅漢像の正面には「石碑三尊五百羅漢記」の碑文があり、志誠の制作への熱意が記されています。志誠の死後、喜多院の学僧たちは志誠の意志を継承しました。喜多院内の毎日の動向を記録した「喜多院日鑑」によると、文政六年（一八二二）に五百羅漢の開眼供養が行われたとされています。
*拝観料が掛かります。

市税納期のお知らせ

9月は、国民健康保険税第3期の納期です。

忘れずに納めましょう。

問い合わせ…収税課収税管理担当

TEL224-5686

どんぐり

編集後記

過ごしやすい季節になってきました。晴れ渡る青空は、アウトドアに誘っているよう。そこで、長瀨へキャンプへ出かけました。キャンプ場では、日が沈むとランタンの明かりが頼り。おのずと早めの就寝になります。翌日は目覚めもよく、すがすがしい朝を迎えました▶長瀨は、川越と共にNHKで放送される「つばさ」の舞台になる予定です。都市としての魅力を持つ川越、自然が魅力の長瀨。「つばさ」がどのようなドラマになるか楽しみです。(YO)

世界の国から、こんにちは！



フランス

フランス/ティボー・ブレックス・尾高さん

出身は、フランスです。シャンパーニュ地方にあるエペルネーというまちで暮らしていました。

親日家の父親の影響で、日本語を学び始めました。パリの大学に在学していたころ、名古屋に留学したこともあります。川越には、結婚を機に8年前に来ました。趣味は、写真を撮ること。いい風景を探しに、喜多院や川越水上公園まで出かけます。古い物と新しい物がある川越が大好きです。景観がすてきな川越を、もっと外国の皆さんに知ってもらいたいですね。

*外国籍市民の皆さんを対象にした催しは14ページ・15ページ、相談は26ページをご覧ください。

国際交流課・TEL224-5506